

5-1. 設定のしかた

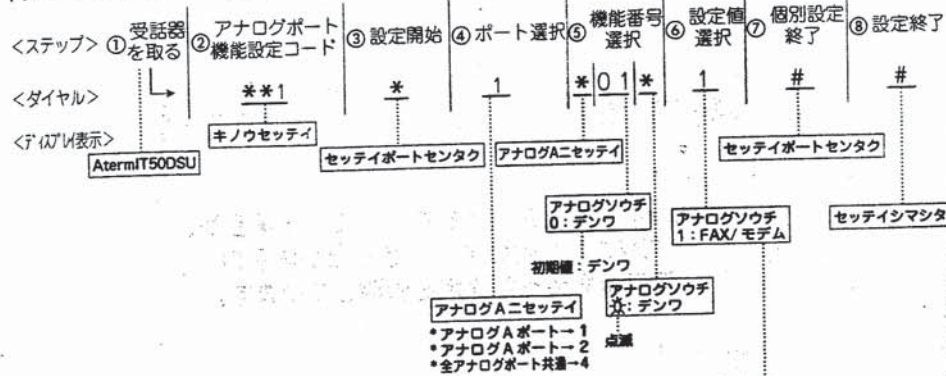
パソコンが使える場合は、簡単に設定できる「3.はじめに必要な設定」および「4.使い方に応じた設定」での設定をおすすめします。電話機からの設定では、Atermの液晶ディスプレイを見ながら設定します。電話機はAtermの近くに置いて操作してください。また、設定をおこなう電話機以外は、すべて受話器を置いた状態にしてください。

各種機能設定のための操作のしかた

電話機で各種機能の設定をするためには、下記のような合計12桁(異なる設定もあります)のダイヤル操作をおこなってください。

●ダイヤル操作例

「アナログAポートをアナログポート接続機器選択でFAX/モデムに設定する」場合



・情報通知サービス
・着信転送
・着信番号
の場合<ステップ>⑥がこの操作になります。

「情報通知サービスのナンバー・ディスプレイを選択し、情報通知サービス時のサブアドレスをつけるに設定する」
 場合 (設定値と追加設定値の間に[#][*]を入力してください。ただし、追加設定値のない場合は設定値入力後<ステップ>⑦へ進んでください。)

<ステップ> ⑥ 設定値・追加設定値選択
 <ダイヤル> 1 # * 1
 ジョウホウソウチ 1: ナンバーディス
 ジョウホウ(サブ) 1: ツケル
 ジョウホウ(サブ) 0: ツケナイ
 ジョウホウ(サブ) *: ツケナイ

つづけて他の設定もおこなう場合はステップ⑦「個別設定終了(1回目の#)」の後、ステップ④「ポート選択」から繰り返しおこなってください。各機能の設定については「設定一覧(125~126ページ)」をご覧ください。

使用ポートと使用機器を設定する

まず、Atermの電源が入っていることを確認してください。機器が接続されているポートと接続している機器の種類を設定します。なにも接続されていないポートは、必ずステップ6で【2】を設定してください。

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

液晶ディスプレイ

AtermIT50DSU

ステップ2 【*】【*】【1】 を押します

キノウセッテイ



液晶ディスプレイに「ポートシヨウチュウ セッテイ フカ」と表示されたら

いずれかのアナログポートまたはデータポートに接続されている機器が使用中で、設定ができません。使用中の機器の通話やデータ通信などを終わらせてから再度操作してください。

ステップ3 【*】を押します

セッテイポ ートセンタク

ステップ4 設定するポート番号を押します

アナログAポートの場合は、【1】を押す
アナログBポートの場合は、【2】を押す

アナログA ニセッテイ

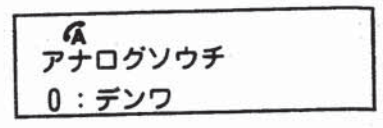
【1】を押したとき

ステップ5 【*】【0】【1】【*】 と押します

設定値を変更しないときは、【#】を押してください。ステップ7の操作をした状態になります。

ステップ6

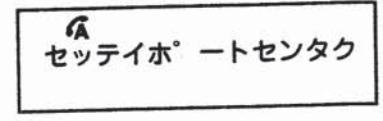
【0】を押します(接続されている機器が電話機の場合)



接続機器が電話機またはファクス付電話機の場合は、【0】を押す
接続機器がファクスまたはモデムの場合は、【1】を押す
機器が接続されていない場合や接続されている機器を使用しない場合は、【2】を押す

ステップ7

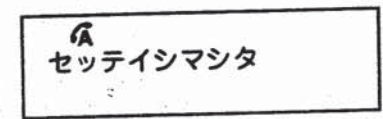
【#】を押します



Bポートに電話機やファクスが接続されている場合は、ステップ4からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します
これで設定は終了しました。



約5秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

アナログポートに発信時通知番号を登録する

(NTTのダイヤルインサービス契約時のみ)

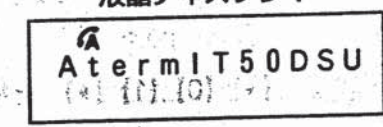
アナログポートで電話をかけたときに相手に通知する電話番号(発アドレス)を設定します。

ステップ1

受話器をあげます

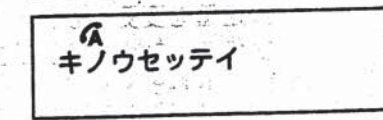
接続してある電話機のどれからでも設定できます。

液晶ディスプレイ



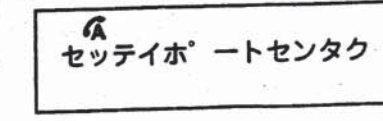
ステップ2

【*】【*】【1】と押します



ステップ3

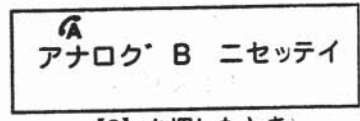
【*】を押します



ステップ4

設定するポート番号を押します

アナログAポートの場合は、【1】を押す
アナログBポートの場合は、【2】を押す



【2】を押したとき

ステップ5

【*】【9】【2】と押します

ステップ6

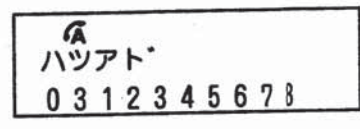
設定値を入力する/しないを選択します

設定値を入力する場合は、【*】を押す→ステップ7へ進みます。
表示されている設定値を変更しない場合は、【#】を押す→ステップ8の操作をしたことになります。

ステップ7

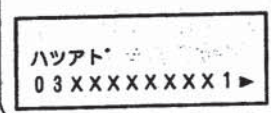
電話番号を押します

例:03-1234-5678のときは、
0312345678と押します。

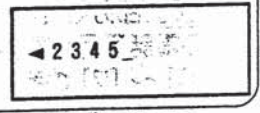


- ・電話番号を間違えて入力したとき
【*】【*】を押すと、入力した最後尾の文字を削除できます。
- ・12桁以上の番号を入力したとき
12桁目を入力すると、先頭に◀が付いて画面が切り替わります。
この状態で【*】【1】を押すと、末尾に▶が付き、1桁目から11桁目までの表示に戻ります。
もう一度【*】【1】を押すと、12桁目を入力したときの画面に戻ります。

例. 電話番号:03XXXXXXXX12345



←【*】【1】を押すごとに切り替わります



ステップ8 【#】を押します

液晶ディスプレイ
セッテイポートセンタク

ステップ9 【#】を押します

これで設定は終了しました。

液晶ディスプレイ
セッテイシマシタ

ステップ10 受話器を置きます

約5秒間表示します

着信する電話番号を登録する

INS ネット64で契約している電話番号を入力します。
モデム・ダイヤルインやアナログ・ダイヤルインサービスで内線通知番号をご利用になる場合は、合わせて入力します。

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイ
AtermIT50Pro

ステップ2 【*】【*】【1】と押します

液晶ディスプレイ
キノウセッテイ

ステップ3 【*】を押します

液晶ディスプレイ
セッテイポートセンタク

ステップ4 【4】を押します

液晶ディスプレイ
キョウツウ セッテイ

ステップ5 【*】【8】【0】と押します

【0】部分を【0】～【7】と変更すれば、【0】～【7】それぞれに1つの電話番号が設定でき、最大8個まで登録できます。
【0】～【7】の番号は、各アナログポートの着信する電話番号割り当てで使用します。

ステップ6 設定値を入力する/しないを選択します

設定値を入力する場合は、【*】を押す→ステップ7へ進みます。

表示されている設定値を変更しない場合は、【#】を押す→ステップ8の操作をしたこととなります。

ステップ7 電話番号を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

液晶ディスプレイ
チャクアト 0:
0312345678

間違えて入力したときは、117ページの「参考」を参照してください。

ステップ8 【#】を入力します

ステップ9 内線通知番号を入力するかどうかを選択します

入力する場合は、【*】を押す→ステップ10へ進みます。

入力しない場合は、【#】を押す→ステップ11の操作をしたこととなります。

ステップ10 内線通知番号を入力します

カーソルが点滅しますので
4桁までの数字を押します。

液晶ディスプレイ
ナイセンシテイ 0:

ステップ11 【#】を押します

液晶ディスプレイ
セッテイポートセンタク

ステップ12 【#】を押します

これで設定は終了しました。

液晶ディスプレイ
セッテイシマシタ

ステップ13 受話器を置きます

約5秒間表示します

アナログポートに着信する電話番号を割り当てる

かかってきた電話番号でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。最大8個の電話番号を割り当てることができます。

液晶ディスプレイ

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

Aterm IT50Pro

ステップ2 [*] [*] [1] と押します

キノウセッテイ

ステップ3 [*] を押します

セッテイポ ートセンタク

ステップ4 設定するポート番号を押します

アナログAポートの場合は、[1]を押す
アナログBポートの場合は、[2]を押す

アナログ A ニセッテイ

[1] を押したとき

ステップ5 [*] [9] [1] と押します

チャクアド 0 ケン

ステップ6 設定値を入力する/しないを選択します

設定値を入力する場合は、[*] を押す→ステップ7へ進みます。
表示されている設定値を変更しない場合は、[#] を押す→ステップ8の操作をしたこととなります。

チャクアド 0 :
XXXXXXXXXXXX

ステップ7 表示されている電話番号を設定しているアナログポートに割り当てるかどうかを選択します

割り当てる場合は、[0]を押します。
割り当てない場合は、[3]を押すたびに次の番号が表示されるので割り当てる電話番号を表示してから[0]を押します。

チャクアド 0 :
XXXXXXXXXXXX



ステップ8では、次のコマンドが使用できます

- 0: 電話番号を割り当てる / 割り当てない切替
- 1: 表示されてる電話番号の続きをみる
- 2: 割り当て状況をみる
- 3: 次の電話番号をみる
- 4: 前の電話番号をみる

ステップ8 [#] を押します

セッテイポ ートセンタク

ステップ9 [#] を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

ステップ10 受話器を置きます

約5秒間表示します

グローバル着信選択を設定する

(NTTのダイヤルインサービス契約時のみ)

- ステップ1** 受話器をあげます
接続してある電話機のどれからでも設定できます。
- ステップ2** [*] [*] [1] と押します
- ステップ3** [*] を押します
- ステップ4** グローバル設定する電話機などが接続されているポート番号を押します
アナログAポートの場合は、[1] を押す
アナログBポートの場合は、[2] を押す
- ステップ5** [*] [0] [5] [*] と押します
設定値を変更しないときは、[#] を押してください。ステップ7の操作をしたことになります。
- ステップ6** グローバル着信する/しないを設定します
着信する : [0] を押す
着信しない : [1] を押す
- ステップ7** [#] を押します
- ステップ8** [#] を押します
これで設定は終了しました。
- ステップ9** 受話器を置きます
約5秒間表示します

液晶ディスプレイ

AtermIT50DSU

キノウセッテイ

セッテイポートセンタク

アナログA ニセッテイ

[1] を押したとき

グローバルチャクシン
0 : スル

[0] を押したとき

セッテイポートセンタク

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ここまででAtermに接続した電話機は使えますが、もっと便利に機能を使うためには、次ページ以後の設定も必要に応じておこなってください。

その他の設定をする

次ページ「設定一覧 (125、126 ページ)」の各機能の設定ができます。設定のしかたは、「各種機能設定のための操作のしかた (114 ページ)」を参照してください。

- ステップ1** 受話器をあげます
接続してある電話機のどれからでも設定できます。
- ステップ2** [*] [*] [1] と押します
- ステップ3** [*] を押します
- ステップ4** 設定する電話機などが接続されているポート番号を押します
アナログAポートの場合は、[1] を押す
アナログBポートの場合は、[2] を押す
全アナログポート共通の設定の場合は、[4] を押す
- ステップ5** [*] [x] [x] と押します
125、126 ページの機能番号を入力します。
- ステップ6** 設定値を入力する/しないを選択します。
設定値を入力する場合は、[*] を押す→ステップ7へ進みます。
表示されている設定値を変更しない場合は、[#] を押す→ステップ8の操作をしたことになります。
- ステップ7** [x] を押します
125、126 ページの設定値を入力します。

液晶ディスプレイ

AtermIT50DSU

キノウセッテイ

セッテイポートセンタク

アナログX ニセッテイ

XXXX
XX

液晶ディスプレイの表示は選んだ設定値により異なります

ステップ8

【#】を押します

他の設定をする場合は、ステップ4からの操作をくり返します。

ステップ9

【#】を押します

これで設定は終了しました。

A
セッテイホートセンタク

A
セッテイシマシタ

個別アナログポートの設定一覧

機能	機能番号	設定内容	設定値	機能	機能番号	設定内容	設定値
アナログポート接続機器選択	01	電話	0	発信者番号通知	09	発信者番号を通知しない	0
		FAX/モデム	1			発信者番号を通知する	1
		なし	2			IMS ネット64の申込内容に従う	2
コールウェーディング	02	使用しない	0	受話音量	12	小 ※	0
		NTTコーウェーディング	1			中	1
		疑似コーウェーディング	2			大	2
識別着信	03	識別しない	0	9A-3A以外送出	13	送出不し	0
		識別する	1			送出する	1
HLC	04	使用しない	0	通話中の受話音量変更	14	変更しない (*#無効)	0
		使用する	1			変更する (*#有効)	1
		使用するが着信判定はしない	2			着信番号選択	91
グローバル着信	05	着信する	0	選択コマンド:0			
		着信しない	1	次頁コマンド:1			
サブアドレスなし着信	06	着信する	0	選択番号確認:2			
		着信しない	1	次番号参照:3			
ダイヤル桁間タイマ	07	5秒	0	前番号参照:4			
		9秒	1	通知番号	92	32桁まで (0~9のみ使用)	0~9
		11秒	2				
		13秒	3				
フッキング検出タイマ	08	30ms - 1000ms	0			自己サブアドレス	93
		300ms - 1000ms	1				
		500ms - 1500ms	2				

※アナログAポートのみ

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
情報通知サービス	10	しない	0	情報通知サービス時のサブアドレス	つけない	0
		ナンバー・ディスプレイ	1		つける	1
		モデム・ダイヤルイン	2	情報通知サービス時のサブアドレス	つけない	0
		アナログ・ダイヤルイン	3		つける	1
		ナンバー・ディスプレイ & モデム・ダイヤルイン	4			

設置前の準備

設置と接続

はじめに必要な設定

使いかたに合わせた設定

電話機を接続する際の注意

全アナログポート共通の設定一覧

機能	機能番号	設定内容	設定値	機能	機能番号	設定内容	設定値
停電時の着信 Aポートのみ	22	着信ブザー	0	着信転送先 アドレス	30	着信転送先(1)	0~9
		着信リング	1		31	着信転送先(2)	0~9
		着信なし	3		32	着信転送先(3)	0~9
優先着信 ポート ※	23	優先なし	0	着信転送元 アドレス・ サブアドレス ※※	40	着信転送元(1)	0~9
		Aを優先	1		41	着信転送元(2)	0~9
		Bを優先	2		42	着信転送元(3)	0~9
内線通話・ 内線転送	24	使用しない	0	43	着信転送元 アドレス(1)	0~9	
		使用する	1	44	着信転送元 アドレス(2)	0~9	
三者通話	25	使用しない	0	45	着信転送元 アドレス(3)	0~9	
		NTT三者通話	1	50~59	アドレス部分	0~9	
		疑似三者通話	2	60~69	サブアドレス部分	0~9	
通信中転送	26	使用しない	0	70	累積料金→0円	1	
		使用する	1	71	表示しない	0	
				短縮・ 識別番号	70	累積料金→0円	1
				累積料金表示・ 初期化	71	表示しない	0
				発信時アドレス 表示	71	表示する	1

※「使用しない」に設定したアナログポートの選択はできません
 ※※あわせて着信番号の設定もおこなってください。

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
着信転送	27	使用しない	0	転送トーン	なし・なし	0
		NTT着信転送	1		あり・なし	1
					なし・あり	2
					あり・あり	3
		疑似着信転送	2			
着信番号	80~87	電話番号	0~9	内線指定番号	内線指定番号	0~9

ご購入時の初期設定値に戻すときは

Atermに設定した内容をすべて消去し、ご購入時の状態に戻します。

注意!

この操作をおこなうと、すでに設定された内容がすべて消去されます。

ステップ1 受話器をあげます

液晶ディスプレイ

Aterm IT50DSU

ステップ2 [*] [*] [9] [8] と押します

シヨキカシマス

ステップ3 [*] を押します

設定内容を消去し、液晶ディスプレイにAtermの名称が表示されます。

Aterm IT50DSU

ステップ4 受話器を置きます

電話が使えることを確認する

確認のしかたは79ページを参照してください。